

加古川市 ゼロカーボンシティ宣言

世界各地で地球温暖化による気候変動が危惧される中、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）において、世界の平均気温の上昇を産業革命前から1.5℃に抑える努力を追求することについて合意がなされ、世界的に脱炭素社会への取組が急務となっています。

国においても2030年度には温室効果ガスの排出46%削減（2013年度比）を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦することを表明しました。

本市としても令和3（2021）年6月に「加古川市気候非常事態宣言」を表明し、市域の脱炭素社会を目指した取組を進めてきましたが、さらに二酸化炭素の排出量を抑制する取組を強力に推し進める必要があります。

本市の未来の環境を持続可能に発展させ、次世代に守り継ぐために、2050年二酸化炭素実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言し、環境先進都市を目指した取組を進めてまいります。

令和4（2022）年2月22日

加古川市長 岡田康裕

